

ISO33k アセッサコース

ISO33kに準拠したアセスメントの実践能力を獲得する。

本コースでは、ISO33k^(注) 国際規格準拠のアセスメントを実施するためのスキルと有能なアセスメントチームメンバーになるために必要なことを学びます。このコースを修了すると下記のことが出来るようになります。

- プロセスアセスメントの全ての段階についての詳しい知識を得る。
- 客観的で、再現性のあるアセスメントを実施する。
- アセスメント結果を活用して、SWOR（強み、弱み、改善の機会、リスク）を抽出する。
- プロビショナルアセッサとしてISO33k適合の公式アセスメントに参加する。

(注) ISO/IEC 33000ファミリー（プロセスアセスメントの国際規格）

■ コースの目的

このコースでは、次のことを学びます。

- アセスメントの目的
- アセスメントのステップ、役割
- データ収集技法と評定技法
- プロセスのSWORの抽出
- 能力レベルの導出

■ コースの成果

コースに参加すると、下記の事ができるようになります。

- アセスメントモデルのプラクティスの解釈を通じて、モデルをより深く正しく理解する
- 組織の内部要員でアセスメントを実施する
- 事業目標達成のためのプロセス改善機会を抽出する

■ コースの形式

アセスメント手法を身に付けて頂く為に、プレゼンテーションと演習を交互に行います。演習はロールプレイを含む豊富な演習内容から構成されています。コース教材には、コースノート、演習用資料、その他追加資料を含みます。

■ 参加の前提条件

このコースを受講するためには、ISO33k・Automotive SPICE[®] 基礎コースの受講もしくは同等の知識が必要です。

また、下記の知識、経験があることが推奨されます。

- ソフトウェア開発経験と、ソフトウェア管理経験
- プロジェクト管理経験
- 基本的なコミュニケーション能力、インタビュー、プレゼンテーション能力

■ コースの内容

アセスメントの背景

- PPA用語の説明
- ISO33kモデルの概要(復習)

アセスメントの概観

- アセスメントのキープレイヤ
- アセスメントの種類とステップ

アセスメント評定の枠組み

アセスメントの実行

- インタビュー技法
- アセスメントデータの収集
- アセスメントの実施
- 所見の分析
- アセスメント出力の準備

■ 資格

受講者はコースを通じて評価を受け、また希望者はコースの最後に試験を受ける事ができます。このコース中の評価と試験に合格すれば、ISO33k・Automotive SPICE[®]プロセスプロフェッショナルプロビショナルアセッサの資格を得ることができます。その後実際のアセスメントに参加して有資格リードアセッサの監督と推薦を得ることにより、有資格アセッサになることができます。資格は、PPA Registerで管理されます。

® Automotive SPICE は、Verband der Automobilindustrie e.V (VDA)のトレードマークです。